

2026年が始まりました。皆さんは今、どのような思いを抱いて、ここにいるでしょうか。

今週の聖句「主が御顔を向けてあなたを照らし、あなたに恵みを与えられるように。」は、

神様が司祭を通して、一人ひとりに向けて語りかけてくださった祝福の言葉です。

さて、「祝福」という言葉を聞いて、皆さんはどのようなことを思い浮かべるでしょうか。

願いが叶うことや幸せな日々が続くことを想像する人がいるかもしれません。

しかし、祝福とは、「失敗しない」という約束でも、「悲しいことが起こらない」という魔法の言葉でもありません。聖書が伝える祝福とは、「神様があなたを大切に思い、見守り、いつもともにいてくださる」ということを告げる言葉です。これは、順調に物事が進んでいる時だけに向けられるものではありません。這い上がれないほど深い悲しみの中にいる人、頭がこんがらかるほど悩んでいる人、つまずきを覚えている人にこそ、祝福は向けられています。どんな時も、神様はあなたを見捨てることなく、そばにいてくださる——そのことを伝えるのが祝福です。

この聖句もまた、「神様はあなたに背を向けることなく、しっかりとあなたを見ている。あなたは決して一人ではない。そのままのあなたを大切に思っている。」…そんなメッセージを、私たちに語りかけています。このことから私は、私たちが祝福の言葉を受け取るということは、「見守られている」という安心感に包まれながら、新しい一步を踏み出したり、歩き続ける力が与えられたりしていることなのだと感じました。

高校生活に限らず、学生生活の中では、勉強や進路、部活動や人間関係…と、悩んだり、悲しんだり、孤独を感じたりすることがあるでしょう。その状況から脱出しようともがくこ

ともあれば、立ち止まってしまうこともあるかもしれません。それでも、どのような時にも、必ず皆さんに寄り添い、見守っている存在がいます。その安心の中で、皆さんのが勇気を振り絞り、新たな扉を開くことができますように。心からそう願っています。

最後になりましたが、今週末に共通テストを控えている三年生の皆さん。

不安に感じることは、それだけ真剣に向き合ってきた証だと思います。どうかここまで積み重ねた努力を信じてください。祝福とともに、皆さんのが持てる力を十分に発揮できるよう、聖靈高校一同、応援しています。

「主が御顔を向けてあなたを照らし、あなたに恵みを与えられるように。」民数記6章25節